

あおぞら

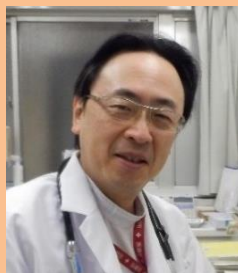
2016 vol.167 3月号

医療法人社団七仁会 田園調布中央病院

広報誌

特集

NSTをご存知ですか？



氏名 石田 順郎
役職 副院長・総合診療科部長

専門領域 一般内科

TOPICS クスリはどうやって効くの？

第33回 公開医療講座のご案内

診療科目

内科 (一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)
外科 (一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)
整形外科 (一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)
眼科 (一般・白内障・網膜剥離・緑内障)
泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来・乳腺外科
形成外科・脳神経外科
予防接種(肺炎球菌・インフルエンザ・MR・麻疹・風疹・
破傷風・おたふく風邪・肝炎)※対象 15歳以上
ウエルネス外来(要予約)※自由診療

受付時間

【午前】8:00~12:00 【午後】8:00~16:30

診療開始

【午前】9:00~ 【午後】14:00~

◆診療科により受付・診察時間が異なる場合がございます。詳細につきましてはお電話、受付までお問い合わせ下さい。

面会時間

11:00~20:00

(面会時間は他の患者さまにご迷惑のかからないようお守り下さい。)

医療法人社団七仁会田園調布中央病院

〒145-0071 東京都大田区田園調布 2-43-1 TEL:03(3721)7121

発行:田園調布中央病院 広報委員会

創刊:2002.5.1

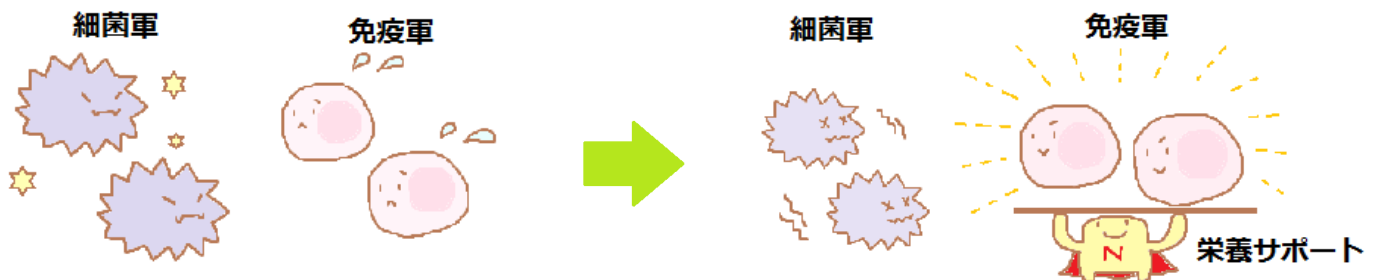


NSTをご存知ですか？

NSTとは、栄養サポートチーム（Nutrition Support Team）の略称です。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師など、さまざまな職種によって構成され、それぞれの専門知識を活かして、共同で患者さんの栄養管理を行う診療チームです。1970年代のアメリカに端を発し、1990年代以降、日本の病院でも急速に普及しつつあります。従来、栄養管理は治療の中でその重要性が過小評価されていました。しかし、近年では栄養管理こそが治療の成否を握るとまで言われるようになりつつあります。

「腹が減っては戦はできぬ」

たとえば肺炎の治療を例にとりて考えてみましょう。細菌性肺炎の治療には抗生物質が使われますが、実は抗生物質は治療の主役ではありません。肺炎をおこす細菌に感染すると、身体に備わった免疫システムが稼働して白血球などが細菌を退治します。そして細菌を痰に包んで体の外に排除します。最終的に、細菌が身体から排除されてはじめて肺炎が治癒することになります。抗生物質の役割は、細菌軍と免疫軍の戦いのなかで免疫軍が有利になるように細菌軍の数を減らすことにあります。抗生物質はあくまでも助っ人でしかなく、治療の主役は免疫軍なのです。十分な兵糧ひょうりょうが免疫軍に供給されなければ、免疫軍は疲弊して細菌軍に負けてしまいます。肺炎をはじめとする感染症の治療では、抗生物質の選択もさることながら、実は適切な栄養管理が行われているかどうか治療の成否の鍵を握っています。感染症のみならずあらゆる傷病の治療において、栄養管理は「縁の下の力持ち」なのです。



当院の取り組み

当院は平成17年11月1日、日本静脈経腸栄養学会によりNST稼働施設認定病院と認定されました。毎週火曜日に、入院患者さんの中から念入りな栄養管理が必要な方々をピックアップし、詳しい検討を行っています。炭水化物、タンパク質、脂肪などの基本栄養素の構成、点滴や経管栄養などによる栄養補充の方法、嚥下障害えんげ（飲み込みの障害）のリハビリテーションなど、扱う内容も多岐にわたります。各職種のスタッフが知恵を出し合っ
てひとりひとりの患者さんに対してよりよい栄養療法を考え、主治医とともに治療に参加し研鑽に励んでいます。また、日ごろの活動をもとに日本静脈経腸栄養学会学術集会などで研究発表を行っています。病院ホームページに活動の一端を紹介しておりますのでぜひご覧ください。

病院ホームページ→「専門外来」をクリック→「NST（栄養サポートチーム）」をクリック





クスリは一体どんな仕組みで、私たちの病気を治してくれるのかご存知ですか？

そしてなぜ、副作用などというものが起こってしまうのでしょうか。

そこで、クスリが体内に入って、どのような働きをしているのか説明したいと思います。

◎クスリは血液とともに体の中を駆け巡ります。

個々のクスリによって、そのメカニズムは異なりますが、ここでは内服薬が口の中に入ってから一般的な流れを見てみましょう。

【吸収】 口から入ったクスリは、**食道**を**通過**して**胃**に入り、いったんここで分解されます。しかし、ここではあまり吸収されず、大部分はその先の**小腸**から血液中に取り込まれ、**門脈**



(消化管からの血液を集めて肝臓に運ぶ静脈)に至ります。

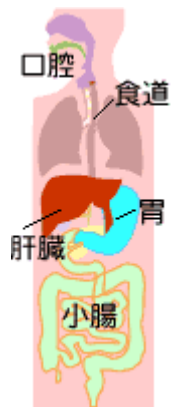
【代謝】 **肝臓**に送られたクスリは、体の細胞に吸収されやすい形に変化したり、分解されたり、毒性を弱められたりします。



【分布】 肝臓を通ったあと、クスリの成分は**血液によって全身へ**送られます。目的とする臓器(病気の部分)に着いて直接作用したり、または中枢や細胞の酵素代謝に働きかけて、病気を治します。



【排泄】 クスリとして働き終えたものは、体外に排出される。水溶性のものは**腎臓から尿**として体外に出ます。このほか、**肝臓から胆汁中に出て便の中へ**出るもの、**呼気**や**汗**、**乳汁**、**唾液**に出るものもあります。



◎なぜ、副作用が起こるの？

紙に表と裏があるように、クスリには病気を治す有効作用とともに、有毒な作用もあります。これはクスリのもつ宿命でもあり、副作用を完全に避けることはできません。

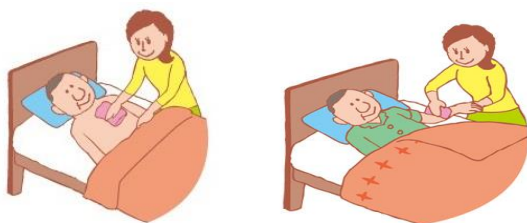
<副作用の主な原因>

1. クスリの量が多いため
2. 薬物アレルギーのため
3. 主作用の過剰発現のため
(糖尿病治療薬で血糖値が下がりすぎたり、降圧剤で血圧が下がりすぎるなど)
4. 目的以外の二次的作用のため
(病気を起こしていないところにまで作用してしまうこと。
例：カゼ薬や鼻炎薬に含まれる抗ヒスタミン剤は、眠気や口の渇きを引き起こす)
5. 肝臓・腎臓の機能が衰えているため
(クスリの代謝・排泄がうまくいかない)
6. クスリ同士の相互作用のため
(2種類以上のクスリを服用した場合、効果が強くなりすぎたり、逆に効きが悪くなって病状を悪化させることがある)
7. 食品との相互作用のため

3月の公開講座は

『高齢者のためのスキンケア』

正常な皮膚は、角質細胞と呼ばれる細胞の層（角質層）が水分を保っていて外からの微生物、アレルギーの原因となるアレルギーなど刺激物が侵入するのを防いでいます。この働きが低下すると、角質層から水分が蒸発して、皮膚は乾燥しドライスキンとなります。ドライスキンでは、皮膚表面の隙間が多いので刺激物など侵入しやすく皮膚障害が起こりやすくなります。



TMG Toda Medical Group

第33回 田園調布中央病院 地域医療公開講座

高齢者のためのスキンケア ～乾燥肌に困っていませんか？～

平成28年3月22日（火）

参加費無料
定員20名

10:00～11:00

講師

田園調布中央病院
皮膚排泄ケア認定看護師
星見 晃江



会場

野村證券 田園調布支店 ラウンジ

T145-0071

東京都大田区田園調布2-62-3 TEL 03-5483-2011（代表）

※「メゾンカイザー東急スクエアガーデンサイト店」さんの隣に
田園調布支店直連のエレベーターがございますのでご利用ください。



お申し込み・お問い合わせ

☎ 03-3721-7121（代表）

田園調布中央病院 担当：総務課 中井

電話受付時間：平日 9:00～16:30 土曜日 9:00～12:00

※当日撮影した写真は、当施設ホームページを通じて掲載しますのであらかじめご了承ください

お申し込み・お問い合わせ

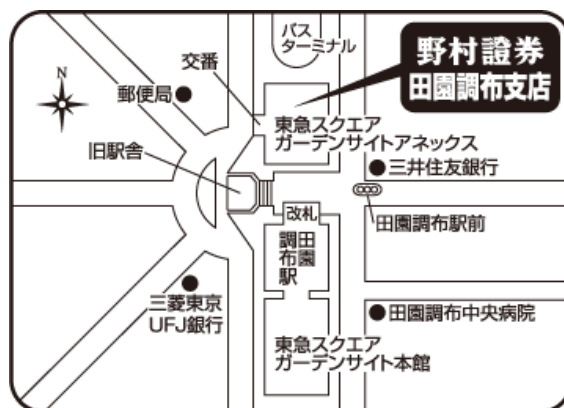
☎ 03-3721-7121（代表）

田園調布中央病院 総務課 中井

電話受付時間：平日 9:00～16:30

土曜日 9:00～12:00

※当日撮影した写真は、当施設ホームページを通じて
掲載いたしますので、あらかじめご了承ください。



インフルエンザワクチン接種のご案内

料金は4,320円（税込み）です。
混雑が予想されますので事前予約も行っております。
インフルエンザは手洗い、うがいが大事です。
詳細につきましてはお気軽にお問合せください。
※当院では高校生以上のみ実施となります。



受付